

ゆとりすと

議会だより **秀峰**

元気いっぱい 一年生の輪！

今年の小学1年生は、町内全部で8人。
少ないけれど、元気だけはどの学年にも
負けないよ！

数字にみるわがまち

(平成24年3月31日現在)

(人口) 合計	4,740人	(-117)	
男	2,127人	(-60)	
女	2,613人	(-57)	
年少 [15歳未満]	235人	(-5)	4.95%
老年 [65歳以上]	2,502人	(-84)	52.78%
世帯数	2,559世帯	(-26)	

() は、前年同月比数

第439回 平成24年3月定例会

小学校統合案に対する 教育委員会の在り方は

問 保護者に対し小学校再編成基本計画書を基本とし、どのように説明してきたのか
答 三小学校の保護者からアンケート調査を実施し説明会、意見交換会を行った



小川智也 議員



松高俊二 教育委員長

教育委員会は関係者に対し、小学校再編成基本計画書を基本とし、具体的にどのような動きかけを行ったのか。また、今後の説明会はどのように考えているのか。



平成24年1月中旬に保護者からアンケート調査を実施し、その結果を基に1月下旬から2月下旬にかけて、保育、小学校、中学校の保護者を対象として、小学校再編成についての説明会や意見交換会を3回開催した。この説明会において再アンケート調査の要望があった。2回目を実施し現在集計中である。

このアンケート調査の結果を踏まえ、今後4月にかけて、保護者や地域住民の方々と慎重に協議、検討していく。

一般質問

問 教育委員会は保護者に対し、きめ細かな説明を全うすべきでは
答 保護者などに対し小学校再編成基本方針を周知徹底し納得するまで議論する

小川智也議員
平成26年度から計画している小学校統合案に至るまでの経緯や方向性（大豊町中学校敷地内に小学校新校舎建設）といった明確な説明と細かい考慮が欠けており、関係者からすると半強制的で少し抵抗があるのではないかと感じる。そのあたりを教育委員会は関係者に対し、時間を惜しまず丁寧なわかりやすい説明責任を全うするべきではないのか。



土佐町中・小学校連携校



吉松英喜 教育長

教育委員会案を三小学校合同による保護者に示し意見を伺い、さらに意見交換会を開催するなど周知徹底し納得するまで議論していく。

小川智也議員

平成23年度の高知県の小学校1校当たりの平均児童数は、県全体で172人、町村別では88人である。現在の大豊町は3校合わせ100人である。県全体と比較すると6割弱程度にしか達しないのが現状である。幼少のころから少しでも多くの人と接している方が、競争力や協調性もより高まり将来プラスになると考える。

再始動した小学校統合計画案は、大人の都合ももちろん理解できるが、前進しない議論で子供たちの未来を狭くするようなことはやめ、もっと真

一般質問

銘建新会社 「高知おおとよ製材」操業

問 社員募集などの計画は
答 現時点会社としての採用時期は決定していない



今井安博 議員

大豊町も出資をしている「高知おおとよ製材」は、平成25年5月に操業する計画となっているが、当初45名、三年後には60人の社員が必要と聞いて

いる。今後の社員募集の時期、男女の比率、年齢制限などの計画は。

岩崎憲郎町長
操業時の社員は45名で、その内5名は銘建工業から派遣となり、地元雇用は40名を計画している。今後、採用時期、採用条件など決定していく予定である。

一般質問

問 児童数の減少に歯止めを、
答 特色ある教育を推進する一方、
長期的な町営住宅の在り方、
財源の確保など早急に結論をだす

今井安博議員

高知おおとよ製材のフル操業時には60人の住宅が必要となってくる。現在空き家の調査をしているが、すぐに人が住める

家はなかなか貸してはくれない。貸していただける家の中には、高額な改装費用が必要である。また、本町の自然環境の中で教育を受けたいので、



大豊町ふるさと住宅

空き家のお世話をしてほしいと言う相談もあり、なかなか見つからない。

現在、小学校の児童数は激減し、学校統合の話を進めているが、教育委員会は児童数を増やすこと、さらに小学校が統合しても、これ以上児童数を減らさないことが重要である。この解決策として、更なる教育の充実に加えて町営住宅の建設が喫緊の課題である。

住めない空き家を探すよりは、町の空き地や各地域で土地を確保して、町営住宅を建設し、人口の減少に歯止めをかけよ。

吉松英喜教育長

子供たちが大豊で学んでよかった。保護者が大豊で子育てしてよかった。町外の人たちから、大豊で子育てしたいと言われる大豊ならではの特色ある教育を推進し、児童数の減少に歯止めを掛けていく。



岩崎憲郎 町長

民間活力を導入して住宅の確保を図るため、民間事業者には宅地を提供するからアパートや賃貸マンションの建設を検討して頂けないかと相談した経緯もあるが、いい返事が返ってこなかった。現在、町営住宅は105戸あり、長期的に今後の町営住宅の在り方など総合的に検討し結論をだす。

一般質問

問 山に感謝の気持ちを
答 本町の最大の資源は森林であり
山に対する感謝は常に持っている

今井安博議員

町有林は約645haある。山を生活の糧にしている者は、毎月20日は必ず祀りをしている。高知おおとよ製材が操業すれば多くの人が山に入り始めるが、山に感謝の気持ちを表すことも大切だと思うが。

岩崎憲郎町長

毎年地籍調査で山に入る場合には、安全を祈願している。本町の最大の資源は森林であり、山に対する感謝の気持ちは常に持っている。

一般質問

**社会保障と税の
一体改革について問う**

問 消費税が10%に引き上げられた
場合住民に対する影響は

答 現時点での具体的な影響が
どのようにあるかという試算は
困難である



前野由和 議員

消費税が10%に引き上げられた場合、また、年

金の来年度分0.3%、さらに過去に不況対策として据え置かれた分2.5%の引き下げによって町民への影響はどのようになると思うか。消費税引き上げの負担増が無駄使用を残したまま課せられようとしている

一般質問

**おおとよ製材工場操業に伴う
エネルギーの需給バランスは**

問 エネルギー政策の転換期にあつて、
木質バイオマスの地域循環利用
システムの構築を

答 木質エネルギーの開発は
今後の課題である

前野由和議員

製材工場操業について、どの程度の電気消費量になるのか。年間原木10万立方メートルの供給には2倍の木材を伐採することになると言われている。直径24センチ以下の原木や端材を含めて資源すべてを活用する計画は。

エネルギー政策の転換期にあつて、県の産業振興計画にも地産地消の促

ほしい。

岩崎憲郎町長

消費税が上がることによって、消費税を中心とする税の体系が変わってくる。具体的な試算は困難である。

ない。木質ペレットなどについては今後の課題である。会社については、先に資料を各議員に渡し説明をしたとおりである。

前野由和議員

環境エネルギー政策研

究グループの資料によると、自然エネルギー自給率100%を確保している市町村が全国で52ある。大豊町は39番目に位置している。この位置取りを堅持していくことを踏まえ取り組むよう要請する。



風力発電（ゆとりすとパーク）

一般質問

政策執行における手法は

問 町長自ら強力なる指導力を発揮して引っ張って
いくのか、部下からの意見を吸い上げて全体を
まとめていく手法をとっていくのか
答 両方の手法をとり組織の機能や
事業を強力に推進していく

前野由和議員

町長自ら強力なる指導力を発揮して引っ張っていくのか。個々の職員の違いや工夫、持ち味を活かしながら進めるのか。これまでを振り返って、また現在進行中の課題への取り組みも見つけて、どちらの手法をとってきたのかまたとるのか。

地域担当班を設置して相当の年月を経過した。私たちも相談があれば先ず駆け込んできた。今日まで果たしてきた役割と評価について、どのような感想を持っているか。

全職員についても町内を幾つかのエリアに分けて担当地域を持たせていると聞くが、内部での申し合わせか、それとも外部に公表してもいいものか。どのような指示をし

一般質問

**町職員給与を引き下げず
生活を守れ**

問 地方公務員についても引下げ
圧力が強まる恐れがあるが
答 地方公務員の給与引き下げ
反対の意見書を提出している

前野由和議員

国家公務員の給与を7.8%下げる特例法案が国会で可決された。地方公務員についても引き下げの圧力が強まる恐れがある。民間賃金の低下にも拍車をかける悪循環となり、結果的に税収悪化と購買力低下を招き、不況から脱却できない状況が十数年間続いてきた。

東日本大震災において、命がけで住民を守ってきた町職員の行動が紹介されている。職員的生活を守るために給与引き下げをしないように強く要請する。

岩崎憲郎町長

職員の給与の削減について一言も発言していない。国家公務員の給与の削減の特例法案が国会で可決された2月下旬、地方6団体名で地方公務員の給与引き下げの圧力が生じないよう意見書を総務大臣に提出している。

一般質問

**有害鳥獣捕獲に対する狩猟
免許取得費用に対する助成を**

問 狩猟免許取得者が高齢化し
減少の一途であるが、新たに
狩猟免許取得者に対する助成を
答 今後どのように個体調整を
行っていくかで検討する



三谷幸一郎 議員

全国的に有害鳥獣による被害は年々その深刻さを増している。本町においても被害の甚大さに苦慮しており、その被害額は平成20年度808万円、平成21年度1千118万円、平成22年度1千772万円と年々増加している。町は捕獲に対する報奨金を交付さらには農地等には防護ネット敷設に対する補助金を交付し懸命な防衛策を講じているが、被害は拡大するばかりである。

平成25年5月には「高知おおとよ製材」が操業

を開始するが、皆伐後植林をしても大半がシカによる被害により壊滅的な被害を被り法正林としての森林リサイクルが危ぶまれる。

現在町内での狩猟免許取得者は165名があり、有害駆除に協力を頂いているが、高齢化等により年々狩猟免許取得者は減少傾向にあると聞く。少しでも若者が狩猟免許取得を容易にするため、免許取得に対する費用の一部を助成する考えはないか。

隣接する本山町、土佐町、徳島県三好市等々、全国では多くの市町村が鳥獣被害の深刻さを重要視し助成を行っている。一人でも多く狩猟免許を



取得し被害を最小限にするため助成が喫緊の課題である。

岩崎憲郎町長
大豊町猟友会を中心に



防護ネット張り（怒田地内）

ボランティア精神のもとにシカ、イノシシ、鳥など約2千近く捕獲されている。今後個体調整をどのように行っていくかで検討する。

町外通勤職員によるふるさと納税の状況は

問 納税件数は11件である

三谷幸一郎議員
平成23年3月定例会で町外通勤職員によるふるさと納税件数は6件であるとの答弁であった。その後一年経過したが、今

後一件でも納税者が増加することを期待する。

岩崎憲郎町長
平成23年度は11件である。

大型製材工場誘致関連対策

問 生活に直結する町道等の維持管理の基本的な考えは

答 町道等は生活の直結する社会資本であり維持管理は従来どおり積極的に実施する



上池如夫 議員

出により、路面の損傷などによって住民に影響はないか。

岩崎憲郎町長

住民にとって日常生活に直結する社会資本であり、維持管理等は積極的に行っていく。



林道奥大田三谷線（立川三谷地内）

問 大型製材工場社員住宅の確保は町営住宅の基本的な考え方は町の将来と地域の在り方を考慮し検討する。

上池如夫議員

平成23年12月定例会で、大型製材工場の社員の住宅確保の質問に対し、既存の町営住宅での対応とすることであったが、町営住宅の空き家がない現在、廃校となった施設を活用し、若者の住宅確保の考えはないか。

岩崎憲郎町長
大型製材工場の社員の住宅確保のみを考慮し結論づけられる問題ではなく、町の将来と地域の在り方がどうあるべきか検討する。現在の廃校施設は、耐震など多額の改修費用がいるため財政的に困難と考えている。

上池如夫議員
少子化、超高齢化が進む町で、集落の存続が危ぶまれる中、Uターン、Uターンなどが居住できる住宅の確保を要望しておく。

高知おおとよ製材

問 木質バイオマス発電の計画はあるか
答 現在検討中



重森一宗 議員

町長は、木質バイオマス発電は再生エネルギーの単価が決まれば可能性

を探っていくと言われた。また、銘建工業の中島社長も木材はすべて利用するという基本的な考えであると聞け、木質バイオマス発電の計画は、銘建工業では、既に出

力2千キロワットの木質バイオマス発電を建設し稼働している。現在、中島社長

と協議中であり、早急に結論をだす。

問 再造林補助率100%は町外地主も補助対象とするのか

重森一宗議員

再造林補助率の内訳は、国68%、県22%、大豊町10%と日本一の補助率であり評価する。本町の山主の42%は、町外地主であるが町民と同様に補助するの

岩崎憲郎町長

本町の森林所有者のほとんどが、森林組合の組合員であり、今後は森林組合を核として団地化を図っていく。この団地化を推進していくには町内地主、町外地主関係なく補助金を交付する



植林（和田地内）

ガソリンスタンドの地下貯蔵タンク改修

問 町内ガソリンスタンドに対する改修費の支援は

答 支援するという結論に至っていない

重森一宗議員

地下貯蔵タンクの改修が1年後に迫り存廃のふちに立つ店舗も少なくないとして、国は87億円を予算化し3分2補助するとしているが、申請者が多いため10億円の不足と報道されている。地下貯蔵タンクを補強する費用は約400万円前後と言われている。

岩崎憲郎町長

現在、町内には5事業者あって、1事業者が補助金交付申請をしていると聞いている。支援をするという結論に至っていない。

集落活動センターの取組

問 集落活動センターの目指すものは

答 本町が抱える様々な課題の解決を図る

重森一宗議員

移動手段の確保、食糧の調達、交流事業、加工品



西峰地区

の開発など集落の支え合いや経済活動などを構築するとしている。国や地方の莫大な借金がある、持続可能な社会にするためには過疎地域の方々に一定のエリアに住んでもらわなければ、一定の医療や介護などのサービスを供給できないとしている。町長は、過疎地域に住んでいることで地域を守り、環境を守り、国土を守ると言われている。この集落活動センターを町内に設置するとすれば、国が指摘する持続可能な社会を含むものか、町長

岩崎憲郎町長

集落の維持や再生に向け、廃校や集会所などを拠点として、外部人材などを活用しながら、生活、福祉、産業、防災等の取り組みを集落の連携により一体的に進める「集落活動センター」の建設など、本町が抱える様々な課題の解決を図る。

平成23年度一般会計補正予算（第6回）（賛成・全員）

補正額7,787万4千円の減額で、累計45億6,055万9千円の予算規模となる。

平成23年度大豊町簡易水道特別会計補正予算（第3回）（賛成・全員）

予算執行状況による調整、施工管理委託料522万7千円計上、補正額347万4千円の増額、累計3億7,769万1千円の予算規模となる。

大豊町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正（賛成・全員）
平成18年3月31日時点の現給保障を受けている者の給料減額改正。
大豊町個人情報保護条例の一部改正（賛成・全員）
個人情報利用制限について、児童生徒の非行及び犯罪被害の防止を加える。
長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の一部を改正する条例（賛成・全員）
長期継続契約を締結することができる契約に関する条例



プロジェクト推進室（本庁3F）

大豊町課設置条例の一部改正（賛成・全員）
プロジェクト推進室を設置。

条例の一部改正

施行規則を制定し、条文の明確化を図る。

大豊町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例（賛成・全員）

東日本大震災から復興に關し、地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律等の施行に伴う改正。

1 平成25年4月1日以降に売渡しが行われた製造たばこの一部の税率を引き上げ。
2 平成26年度から平成35年度の間、個人町民税の均等割りに500円を加算。
3 現在退職所得の分離課税に係る所得割について、その所得割の額から10分の1に相当する金額を控除されているが、平成25年からこの措置を廃止。

大豊町介護保険条例の一部を改正する条例（賛成・反対 前野由和議員）
第4段階の基準額が200円増額となり、現在の年間保険料4万800円が4万3千200円となる。また、第8段階の基準額200万以上が190万以上に改正。

大豊町高齢者福祉計画の所得階別被保険者数は、基準値未満の第1から第3段階の方が1千510人比率は63.1%となる。今回の引上げによる保険料収入増は、平成24年度478万500円である。財政安定化基金の活用と介護保険財政調整基金を活用すれば十分対応できると考える。年金の物価スライド0.3%が4月分、6月支給から、さらに過去に据え置かれた分2.5%削減を3年間にわたって実施される分を10月分から12月支給から0.9%削減とある。

介護保険料は年金からの天引きがほとんどであり、年金支給減額による心理的影響は相当大きいものと考えられる。さらに介護保険料の負担増は、追い打ちをかけることになる。このような条件下の基において可能な限りぎりぎり踏みと



前野由和 議員

反対討論



重森一宗 議員

賛成討論

どまって、住民負担をかけるない姿勢をとるべきだと考え反対である。

他市町村では月額保険料が5千円を超えようとしている中で、本町の介護保険の運営が適切に執行され、第4段階の基準月額3千400円を200円上げるという改正案である。この改正案は将来の負担を先読みした措置であり賛成する。
大豊町立公民館設置条例の一部を改正する条例（賛成・全員）
公民館運営審議会委員を教育委員会が委嘱する際、家庭教育の向上に資する者を加える。
大豊町立地区集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（賛成・全員）
和田上部集会所、八畝集会所は、当集会所管理組合との無償譲渡協議が整ったため条例から削除。

第438回（平成24年2月）臨時会

平成23年度一般会計補正予算（第5回）（賛成・全員）

補正額1,900万円の増額で、累計46億3,843万3千円の予算規模となる。

主な財源（歳入）

◇県支出金

高性能林業機械等整備事業費補助金1,400万円、一般寄附金500万円計上。

主な使いみち（歳出）

高性能林業機械等整備事業費補助金1,400万円、観光宿泊施設等建築工事500万円を計上。

町有財産の取得（賛成・全員）

川口南土地購入に伴う協議が調った。

第439回（平成24年3月）定例会

3月7日開会、3月21日までの15日間の会期、町長提出の平成24年度当初予算をはじめ、平成23年度一般会計補正予算、条例など15件を可決、工事請負契約、過疎地域自立促進計画変更、財産の無償貸付、財産の無償譲渡、指定管理者の指定、町道の認定を可決、固定資産評価審査委員会委員の選任同意、議会議員派遣に関する決議、意見書3件可決し、継続審査・調査付託を決定の上、閉会した。

平成24年度当初予算（賛成・全員）

会 計	本年度予算額	前年度当初予算額	比較
一 般 会 計	55億596万円	38億4,672万2千円	16億5,923万8千円
特別会計	国民健康保険	7億3,889万2千円	7億6,190万5千円 △2,301万3千円
	介護保険	6億7,748万5千円	7億2,728万1千円 △4,979万6千円
	後期高齢者医療	9,629万8千円	9,629万8千円
	簡易水道	1億3,043万8千円	1億652万円 2,391万8千円

一般会計の主な財源（歳入）

- ◇地方交付税 20億1,700万円（前年度比0.2%、400万円増）
- ◇臨時財政対策債 1億4,800万円（前年度比25.9%、5,180万円減）
- ◇町税 3億4,824万9千円（前年度比0.3%、91万7千円減）
景気低迷などによる減。
- ◇国庫支出金 1億2,782万3千円（前年度比25.2%、2,537万8千円増）
国宝重要文化財等保存整備費補助金、道路整備交付金等の増による。
- ◇県支出金 16億7,115万1千円（前年度比324.6%、12億7,729万9千円増）
新規事業に伴う工業用地整備事業費補助金、木材加工流通施設等整備事業費補助金等の皆増。
- ◇財産収入 1,933万円（前年度比46.2%、1,662万4千円減）
預金利子、立木売払代金等の減。
- ◇繰入金 6億9,379万円

（前年度比88.3%、3億2,525万8千円増）

臨時財政対策債の減、単独事業等の増。

一般会計の主な使いみち（歳出）

- ◇人件費 8億5,713万8千円（前年度比0.23%、206万6千円増）
特別職の報酬、議員の共済費、職員の採用・昇給による給料・手当などの増。
- ◇物件費 6億865万7千円（前年度比10.1%、6,861万3千円減）
地籍調査事業、町有林間伐事業等の減。
- ◇補助費 8億2,060万6千円（前年度比6.5%、5,014万2千円増）
みんなで支える郷づくり補助金、森林地域整備地域活動支援交付金、鳥獣被害緊急対策事業費補助金等の増。
- ◇普通建設事業費 17億8,521万7千円（前年度比1,214.6%、16億4,941万8千円増）
木材加工流通施設等整備事業費補助金、川口南農工団地造成事業、観光施設整備事業、杉の大杉再生事業等の皆増。

23第5-120大豊町川口南地区造成工事請負契約 (賛成・全員)
1 契約の目的 23第5-120大豊町川口南地区造成工事

2 契約の方法 指名競争入札
3 契約金額 2億7千76万7千7百円
4 契約の相手方 高知市仁井田1625番地2

大旺新洋・高知市仁井田1625番地2
代表者 高知市仁井田1625番地2
大旺新洋株式会社高知土木店
常務執行役員本店長 隠岐 敬一

大豊町過疎地域自立促進計画の変更 (賛成・全員)
現計画に大杉簡易水道施設増補改良事業、大規模災害予防対策事業、水利台帳整備事業を追加。

大豊町簡易給水施設の管理に関する指定管理者の指定 (賛成・全員)
三津子野地区簡易給水施設を三津子野地区簡易給水組合へ平成24年4月1日から平成28年3月31日までの間、指定管理者として指定。

財産の無償貸付 (賛成・全員)
川口南工業団地の企業誘致における進出企業支援の一貫として、土地を無償貸付け。貸付けの期間は、操業開始から平成29年3月31日まで。

財産の無償譲渡 (賛成・全員)
和田上部集会所、八畝集会所を当集会所管理組合へ無償譲渡。

町道の路線認定 (賛成・全員)
川口南永田支線を町道として認定。



和田上部集会所

主な質疑

○一般会計予算

小川智也議員

平成24年1月の広報編集特別委員会において、議会だより「秀峰」は現在、高知県町村等へ毎回68部発送している。しかし、表紙に大豊町と記載されていないために、この議会だよりかはわからないという意見がでた。佐藤広報編集特別委員長から総務課長に検討を願ったようであるが、その結果は。

佐々木讓総務課長

次回の5月号から、表紙に大豊町名を入れる計画である。レイアウトについて、広報編集特別委員会と協議をする。

小川智也議員

ホームページの更新の進捗よく状況は。

佐々木讓総務課長

平成24年3月末には完了する。

三谷幸一郎議員

財産管理費の庁用車購入は、軽四か普通車か工コ力か。

佐々木讓総務課長

10人乗りの車1台を買換える。

小川智也議員

町長選挙と町議会議員補欠選挙はいつか。

佐々木讓総務課長

町長の任期は、12月18日となり、その任期の30日前から選挙を行えることになっているが、期日はまだ確定していない。

小川智也議員

地籍調査の進捗よく状況と完了予定年度の見通しは。



地籍調査

宮内伸彦産業建設課長

全体計画が283・95平方メートルに対し、調査済み面積は229・9平方メートルである。進捗率は80・96%となっている。平成24年度の調査は中村大王地区0.82平方メートル、北川地区1.46平方メートルの合計2.28平方メートルを計画している。完了見込み年度は平成36年度を予定している。

前野由和議員

社会福祉費は前年度に對して、2千452万4千円増加しているが、地方債は何を充当するのか。

都築純一住民課長

増加の要因は、障害者自立支援給付費などであり、過疎債を充当する。

前野由和議員

平成24年度から子供手当の給付内容はどう変わるのか。

都築純一住民課長

子供一人につき月額、3歳まで1万5千円、3歳から小学校卒業する

までの第1子、第2子は1万円、第3子以降1万5千円、中学生は1万円がそれぞれ給付される。

小川智也議員

新規兼業農家スタイル構築育成事業補助金の内容は。

宮内伸彦産業建設課長

本町で新規就農などの目的を持って、平成23年度までの3年間ゆとりファームで3名雇用していた。平成24年度から新たに高知県単独事業により3年間の事業として取り組むものであり、雇用は引き続きファームで3名雇用を計画している。

前野由和議員

林業総務費は前年度対比3千381万9千円の増額となっているが、鳥獣被害対策としてシカの捕獲報償費が増額となっているのか。

宮内伸彦産業建設課長

平成24年度から高知県

今井安博議員

シカの被害が甚大であるが、オオカミとの共生により駆除していくという情報は。

岩崎憲郎町長

現在、一般社団法人オオカミ協会がドイツに見るオオカミとの共生「復活オオカミでシカをコントロール」と題して全国6か所でシンポジウムを計画している。現時点での情報によると、シカに対する効果はあるが、生態系の問題などコンセンサスを得るのに困難さがあると聞いている。

小川智也議員

観光施設整備工事費の内容は。

佐々木讓総務課長

日本一大杉の駐車場を



梶ヶ森登山道 (東庵谷)

整備する。場所は現駐車場手前の山手側を計画している。

今井安博議員

大田口駅から東庵谷をルートとする梶ヶ森登山道の標識が腐食し、登山客は分かりづらくなっているが、標識の整備計画は。

佐々木讓総務課長

現在の所、整備計画は

ないが順次整備をしていきたいと考えている。

重森一宗議員

ここ数年定例会で毎回、一般質問や議案質疑の中で有害鳥獣、特にシカ、イノシシの抜本的な対策の声があるが、基金を設置しプロによる駆除の検討を。

岩崎憲郎町長

大豊町猟友会の皆さん

にボランティアでの協力を得て感謝をしているところである。地域の被害は深刻であり検討する。

吉松英喜教育長

平成23年12月議会定例会の議案質疑の中で、今井議員から児童間においてトラブルが発生した場合は、どのように取り組んでいるのかという質問があつて、育成センターが中心となり、学校と連携を取りながら高知県教育委員会の助言を得て解決をしているという全体の質問である。と解釈をし、解決をしていると答弁をしていた。既に質問のトラブルが解決したという過去のことにしているのではないかと一部の方から申し出があり、トラブルについてはすべてが解決された訳ではないので報告する。

小川智也議員

中学生の海外研修は、昨年と同様にオーストラリアで行うのか。研修期間は。



オーストラリア

家族を挙げて歓迎できるような体制を整えるべく計画をしている。

佐藤徳治議員
スポーツ推進委員というものは、従来の体育指導員のことか。また、委員は何名か。

上地信男教育次長
スポーツ振興法からスポーツ基本法に改正され、スポーツ推進委員に名称が変更されたもので、委員は7名である。

から本町へホームステイに来ると聞くと対応には万全を期しているか。

上地信男教育次長
オーストラリアの子供たち19名が、本町でホームステイをしたいという連絡があった。昨年、オーストラリアでホームステイした本町の生徒たちは

感じたが。
吉松英喜教育長
3月4日は第30回土長南国駅伝大会が本山町、土佐町で開催され、この駅伝大会の事務局を大豊町教育委員会が行っているため、剣道大会の応援態勢が取れなく大変迷惑

をかけたと反省をしている。今後は万全を期したい。

佐藤徳治議員
大豊町中学校体育館と農村広場の間へ植樹をしており、枝が茂り体育館が昼間でも暗いが対策を

吉松英喜教育長
伐採することを検討していたが、中学校ソフトボール部の練習の際、ファウルボールが体育館のガラスを直撃するということなどで伐採できない状況である。伐採するにはネットの設置を必要とすることから、どのようにするか検討する。

前野由和議員
本町のごみ袋が破れやすいと苦情を聞くが抜本的な対策を。

都築純一住民課長
苦情を聞き強度のあるごみ袋に替えるようにしている。

○23第5-20号大豊町川口南地区造成工事請負契約締結

今井安博議員
工事の工期は。
好永公一副町長
平成24年3月10日から平成25年1月29日を予定している。



大豊町中学校体育館

上地信男教育次長

海外研修先はオーストラリアで、研修期間は平成23年度より3日間増え10日間とし、ホームステイを2日間から3日間に延ばした計画をしている。
今井安博議員
海外研修は評価する。このたびオーストラリア



造成地

○大豊町課設置条例の一部を改正する条例

前野由和議員
プロジェクト推進室を設置する主たる目的は。

岩崎憲郎町長
大型製材工場関連施策に加え、緊急かつ重要なプロジェクトに取り組むため。

○大豊町介護保険条例の一部を改正する条例

前野由和議員
本町の介護保険料は県

下でも低額であるが、その要因は。

都築純一住民課長
施設が少ない上、利用者が少ないことによる。

○大豊町過疎地域自立促進計画の変更

重森一宗議員

消防団は大規模災害時には停電となり、電話や消防無線は使用ができません、加えて携帯電話も通じないことが懸念される。無線のデジタル化や衛星携帯電話を整備すること

が喫緊の課題と言えるが。

岩崎憲郎町長
現在消防無線のデジタル化は嶺北広域行政組合で検討中である。衛星携帯電話は平成24年度に消防団各部へ配備する計画である。

今井安博議員
現在林野用防火水槽の



消防団本部防災無線

設置は、年間の割り当てがあるのか。防火水槽の設置の際、掃除ができる水抜きを付けることができるか。

佐々木讓総務課長
年間の割り当てはなく、集落から要望があった場合設置している。現在設置の際、水抜きを付け工事を行っている。

をかけたと反省をしている。今後は万全を期したい。

佐藤徳治議員
大豊町中学校体育館と農村広場の間へ植樹をしており、枝が茂り体育館が昼間でも暗いが対策を

前野由和議員
本町のごみ袋が破れやすいと苦情を聞くが抜本的な対策を。

都築純一住民課長
苦情を聞き強度のあるごみ袋に替えるようにしている。

○23第5-20号大豊町川口南地区造成工事請負契約締結

今井安博議員
工事の工期は。
好永公一副町長
平成24年3月10日から平成25年1月29日を予定している。

前野由和議員

集会所を管理組合へ無償譲渡した後、修繕や改築を余儀なくされた場合は町からの助成はあるのか。

佐々木讓総務課長
補助金の交付により対応する。

行政報告

○財団法人木材研究所土佐人材養成センター解散決定
(岩崎憲郎町長)

平成24年1月4日付けで知事の許可を経て、平成24年3月31日をもって解散することを決定した。

人事

固定資産評価審査委員会委員選任同意

(賛成・全員)
大豊町黒石361番1

よしだとしお
吉田敏雄

意見書

国土交通省四国地方整備局及び
各事務所の存続を求める意見書
(賛成者・全員)

総務産業建設常任委員長 今井安博

昨年3月11日の東日本大震災では、「くしの歯作戦」に代表されるように国土交通省東北地方整備局や管内各事務所が復旧・復興に当たる一方、被災地外の地方整備局からも被災地へ応援派遣を行うなど、すべての地方整備局が国土交通本省と一体となつて、その役割を發揮しており、今回の大震災では、地域における国が果たすべき責任と役割の重要性が改めて明らかになった。

このような状況下にあつて近い将来にも発生する可能性が高いとされる東南海・南海地震では、四国の太平洋側だけでなく瀬戸内側も含め、四国全域に甚大な被害を及ぼすことが想定されている。そのような中、今国に求められていることは、防災対策などで地方自治体と連携し、住民の生命を守り、安全・安心を確保する責任と役割を發揮することである。しかし、政府の地域主権戦略会議及び全国知事会は国の出先機関廃止を主張し、「アクションプラン」原則廃止に向けて「」が平成22年12月に閣議決定され、平成24年度通常国会では国の出先機関を原則廃止する法案が提出されようとしている。

このような地方分権改革に対して地震や津波、台風などの大災害から国民の安全・安心が守られないことや地方自治体の財政状況によって社会資本の整備・管理に地域間の格差を生じさせ地方切り捨てに拍車をかけるのではないかと強い危惧を持つものである。

住民自治、国と地方の適切な役割分担、財源とその配分・使途など、改善すべき課題はたくさんあると認識しているものの、地域間格差、地方切り捨てにつながる現在の地方分権改革の動きには賛同できるものではない。特に地震・津波・台風などの大規模な自然災害に対する国としての行政責任を果たすため、地方整備局や各事務所・出張所は存続させべきである。

よって国民の安全・安心を守るため、内閣総理大臣等へ意見書を提出するものである。

子ども・子育て新システムによる保育制度改革に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書について
(賛成者・全員)

教育民生常任委員長 重森一宗

国は少子化社会対策会議において「子ども・子育て新システム」の中間取りまとめについて」を決定した。今後必要な検討を踏まえ、社会保障・税一体改革とともに2011年の通常国会で法改正を行

い、2013年度から新制度の施行を目指すとしている。

この「子ども・子育て新システム」は、直接契約、利用者補助、保育料の応負担などを柱とする仕組みであり、待機児童解消を名目に、多様な事業者の参入を図るとして事業者指定制度を導入し、保育の市場化、産業化を進めるものである。

現行保育制度は、国と自治体の公的責任、最低基準の遵守、公費による財源保障と応負担を制度の柱にしており、すべての子どもの保育を受ける権利を保障してきた。しかし、「子ども・子育て新システム」は、国の責任を市町村に委ねるだけでなく、児童福祉法24条に基づく市町村の保育実施責任を大幅に後退させるものである。子どもの福祉よりも経済効率が優先され、保育の地域格差が広がるだけでなく、家庭の経済状況により子どもが受ける保育のレベルにも格差が生じることになりかねない。

子どもの貧困や子育て困難が広がる中で都市部では保育所の待機児童が急増しており、過疎地では保育の場の確保が困難になっている。いま必要なことは、新システムの導入ではなく、国と自治体の責任で保育・子育て支援施策を拡充し、十分な財源を確保することなど、すべての子どもに質の高い保育と支援を保障するための公的保育制度の拡充である。よって国及び国会に対し、子ども

情を踏まえた上で、国と地方自治体の責任のもとに保育制度の拡充を図られるよう、内閣総理大臣等へ意見書を提出するものである。

所得税法第56条の廃止を求める意見書について
(賛成者・全員)

教育民生常任委員長 重森一宗

中小業者は、地域経済の担い手として、日本経済の発展に貢献してきた。その中小零細業者を支えている家族従業員の一働き分(自家労賃)は、税法上、所得税法第56条(配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に参入しない)(条文要旨)により、必要経費として認められていない。

事業主の所得から控除される働き分は、配偶者の場合は86万円、家族の場合は50万円、家族従業員はこのわずかな控除が収入とみなされるため、社会的にも経済的にも全く自立できない状況に置かれている。家業を手伝いたくても手伝えないことが、後継者不足に拍車をかけている。ドイツ、フランス、アメリカなど、世界の主要国では税法上も、民法、労働法や社会保障上でも「自家労賃を必要経費」と認めており、家族従業員の労働の社会的評価、働き分を正当に認め、人権保障の基礎を作るためにも、所得税法第56条を廃止することを求め、内閣総理大臣等へ意見書を提出するものである。

委員会の動き

○教育民生常任委員会

教育民生常任委員会調査報告書

教育民生常任委員会は、平成24年2月20日に廃校校舎の利活用に関する調査として、香川県三木町「三木町希少糖研究研修センター」の誘致の経過と施設などについて行った。

教育民生常任委員長 重森一宗

三木町南部山間地区の谷あいにある小藁地区では平成22年度の中学3年生一人が卒業、奥山地区では平成29年度の中学3年生一人が卒業すると、それぞれの施設すべてが自然廃校となる経緯を踏まえ、地元保護者・住民等と協議を重ね、両校は平成17年度をもって閉校とすることを決定した。

平成17年に「合同会社希少糖技術研究所」から旧小藁小中学校を「三木町希少糖研究研修センター」として活用し、希少糖に関する学術研究を世界への発信基地にする」とともに、産学公連携による新しい産業再生への研究所とし、同時に豊かな自然の中で、科学の夢を育む科学教育の拠点にしたいとの打診があり、三木町では「誘致検討委員会」を設置した。

この研究所が取り組む内容は、にぎわいをもたらす短期的なもの、地域ブランド製品にもつなげる長期的な成果を内蔵しており、単に両地区や三木町の教育文化、農業

技術や産業の発展に限らず、町内外の活性化にも広く貢献するものであること。また、各分野の研究者や小学生から高校生、一般の人々など広範な層の人々に科学への夢を与える研修等へ参加することができ、三木町と合同会社等が一体となることによつて、世界にまれなる研究の拠点として、国際希少糖学会の開催・世界の研究者・技術者の受け入れ等での「三木町のにぎわい」、また、地元雇用を含め「地域活性化」が十分に期待でき、「21世紀の夢に挑戦する町づくり」として、両地区を地域再生計画区域「希少糖の里」とすると

の結論に至り、平成18年9月議会において旧小藁小・中学校への企業誘致が承認されている。旧小藁小・中学校は、幼稚園、小学校、中学校が同一敷地で、さらに小学校中学校が同一校舎内にあって、小・中学校舎は築後23年の3階建の鉄筋コンクリート1千373平方メートルを有している。

この廃校校舎に三木町は、希少糖研究研修センター改修工事費約1億円を投じ改修を行っている。一階には「希少糖生産室」として利用し、微生物の培養、酵素の抽出、バイオリアクターの反応、希少糖の分離などの希少糖生産ラインを配置、二階には、世界からの希少糖に関する情報を収集・集積し、独自の研究成果をデータベースとして保存・発信する。そのため「希少糖に関する情報室」を設置している。三階には「セミナー室」及び宿泊施設を整備し、他の小部屋・給食場・幼稚園・プール・運動場等については、地域



三木町希少糖研究研修センター

住民との交流会、教育・研究・研修の実習室、生物生産の場、機械器具の管理等に使用している。希少糖とは自然界で微量しか存在しない糖類で、約50種類ある。その応用研究が医療や化粧品、食品甘味料、植物抑制剤及び農薬等の分野で進められている。

平成3年香川大学農学部何森健教授によつて、果糖から希少糖をつくるD-1Pシコースと言う酵素の一つが香川県の土地から発見された。これにより安価な糖を希少糖に変える本格的な研究が進み、香川県宇多津町に10億円の希少糖生産工場の建設が進んでいる。

現在D-1Pシコース(血糖値抑制、抗動脈硬化、抗肥満作用)、D-1Pシコース(抗酸化作用、ガン予防、高血圧発症抑制)の研究が進んでいる。一方、地区在来種のスイナという植物の葉からD-1Pシコースが抽出することが発見され、近い将来には小藁地区・奥山地区をスイナ生産地とする

構想もある。

平成17年閉校を決め、三木町として地域に子供がいる限り「スクールパス」の運行、過疎化の歯止めと地域振興の支えの体制を取り、両地区で「小藁の未来を考える会」「奥山をよくする会」を平成17年に立ち上げ、地区の活性化を模索していた。その閉校と、新たな研究所を求めていた「合同会社希少糖技術研究所」が出会い、今日の地域活性化につながっているまれな成功例と言える。

本町において地域活性化を目的とした廃校校舎の利活用は長年の懸案事項である。三木町の「希少糖研究研修センター」は産学公連携による新しい産業再生の成功例として注目をすべきで、現在5廃校の施設、特に借地をしている施設については、発想の転換をし利活用対策の担当者を配属して早急に具現化をするべきである。

委員会の動き

○総務産業建設常任委員会

総務産業建設常任委員会調査報告書

総務産業建設常任委員長 今井安博

総務産業建設常任委員会は、所管事項に関する調査として平成24年2月17日に徳島県上勝町での「林道・作業道の施工方法」、「廃校施設を活用した複合住宅及び事務所」、2月24日徳島県三好市での「ミツマタ共同加工所等」についてそれぞれ行った。

徳島県上勝町では、側溝を敷設せずコンクリート舗装で施工している林道神明杉地線は幅員3.5メートルの林道で、平成3年度から着工し平成21年度までに延長3.138キロを開削している。この林道は、集落内を横断しては、集落内や木材を搬出する目的道である。

本来の林道の維持管理は受益者によって行われるものである。しかし、木材の低迷等により林業に対する意欲の減退で間伐が進まない中、林道の側溝等の維持管理はされず災害を誘発している。

そこで、上勝町長は林野庁に対し側溝を敷設せずコンクリート舗装で開設できるよう補助金交付要綱の改正を要望した。この要望が叶い平成16年度からこの工法で施工している。

側溝無しでの施工は、土工（掘削・床堀）を極力少なくし、コンクリート舗装は鉄筋を入れ平均15センチで施工することによって、流水を分散し災害を未然に防止できるなど、維持管理費が削減できることから、平成16年

度からこの工法で延長650メートル施工しており、踏査したが災害の形跡はなかった。特に担当者の説明によると、もし法面が崩壊して路面に崩土がきても側溝がないことにより、重機により容易に除去ができ維持修繕費を最小限に抑えることができるというメリットを強調された。



林道神明杉地線

本町の総合計画の要である「ゆとり」と「コンパクト」では、森林地を推進する。森林の団地化を推進するとともに、森林組合を中心とする森林管理の長期受託、町内森林の共同化林道、作業道の整備、機械化の推進などによる間伐の推進、併せて担い手の確保対策の推進に積極

的に取り組むとされているが、「民有林路網密度(m/ha)」が低い本町での林業行政は林道網の整備が不可欠である。このことから、今後の林道開設には維持管理を極力少なくし、災害を誘因しない先進的なこの工法での施工を望む。

上勝町は昭和30年の6千265人をピークに毎年減少し、平成17年には1千955人と50年間で69%も減少。高齢化率49.6%で、過疎と高齢化が同時進行している。これらの状況を打破し、町の活性化を図るため、彩農業、菌床椎茸、第三セクターによる雇用創出で若者定住促進など全国でも屈指の先進的な取り組みを行っている。

その結果、少しずつではあるが、定住人口の増加の可能性ができて、月に数件は定住希望の問い合わせや訪問が増えていく。しかし、定住希望者にとって生活基盤の住宅は最重要課題であるにもかかわらず、上勝町には貸してもらえる「空き家」がほとんどなかった。町営(10戸)・公営住宅(14戸)も入居済みで、

定住の基本条件の一つである住宅事情は非常に厳しいものがあつた。この対策として、廃校を町単独若者住宅として転用改修し、若者定住を促進することで、児童生徒も確保し複式の解消、多様な意見による想像力の向上、競争心、協調性の醸成等の学校機能の持続と町の活性化を進めるために、廃校を利用することに決定し、平成11年度に複合住宅とするべく改修工事に着手した。

この複合住宅は、既存施設(RC造)を活かし、総事業費1億9千133万円、建築延べ面積1千328平方メートルの既設の建物を長く活かす。工事の廃棄物を最小限に押さえる。自然や人間に優しい材料や設備を利用する。住宅内部の工事期間を短縮するという基本的な考え方のもとに整備し、貸事務所5室(床面積28×108平方メートル)・家賃1万3千円〜3万7千円)住宅8戸(床面積54.6×72平方メートル)・家賃2万1千円〜3万円)にリニューアルされた。

平成12年に完成、入居公募は希望者が殺到し、事務所2室は町の第三セクターが、3室を町外企業が借用。住宅については8世帯が入居、現在でも満室状態で入居者はすべて町外の方である。事務所として借用している業者は、徳島市内から1時間圏内で、賃料も安く、高速ブロードバンドも利用可能で山間地域でもビジネスができる環境にある。また、住宅に入居している1タイン者は「豊かな自然に恵まれ、子育てをするには良い環境です」という声があつて、リニューアルの所期の目的が達成されていた。



複合住宅・事務所

本町では、現在5廃校施設がある。特に借地をしている廃校施設は早急に利活用を検討し地域の活性化が図られるよう要望する。

黒沢湿原と三好おさつの里を一体化し、みつまた畑の散策等、観光資源として活用し、三好市の活性化を図ることを目的として、栽培から加工まで行っている。

10アール当たりの白皮の収量は90キログラムで、上質の単価は30キログラム8千円であり、23万4千円の粗収入となっている。機械化はされ作業効率が図られているが時間給にすると500円と経営は非常に苦しい状況であった。

以上の結果、ミツマタの栽培から加工は、専門あるいは組合方式では経営が成り立たなく、農林業の複合経営の一作目として、耕作放棄地や採草地での栽培を行い冬季の換金作物としては期待できる。



三好おさつの里



ミツマタ共同加工所

ミツマタは、良質の紙原料で1万円札には欠かせない必需品である。かつて本町でも換金作物として盛んに栽培され、昭和51年には25トが出荷されていた。しかし、現在国内の主たる生産地は、徳島県、愛媛県、岡山県、島根県の4県のみとなっており、国立印刷局の年間必要量は150トとされているが、国内生産量は15・33トで不足分はネパールから輸入されている。三好市山城町のミツマタ共同加工所では、栽培と生木を購入し加工を行っている。本町の東豊永から購入した生木も出荷されていた。生木の購入価格は原木持ち込みで1キログラム60円、栽培園(立木)での販売価格は30円で取り引きされている。10アール当たりの原木生

産量は約1.125トの収量であり、原木持ち込みで6万7千500円で取り引きされている。ミツマタ共同加工所では、鉄板鎮止式の箱蒸し法で、生木をそのまま横や縦に詰め込むので、作業が容易に行われていた。また、黒皮加工作業は皮取り機によって行われており、手作業に比べ機械化により作業の効率化が図られていた。

この協議会は、国土交通省総合政策局の補助事業である「建設業と地域の元気回復助成事業」を導入して、三好おさつの里加工所には、蒸気蒸し釜、黒皮剥ぎ機等の機器を整備して、蒸煮作業、黒皮加工、黒皮乾燥、白皮加工、白皮のさらし、乾燥を行い製品化して独立行政法人国立印刷局へ販売している。

三好市にある協同組合三好郡建設業協会では、土木工事の受注件数が激減し、保有機械の稼働率の低下、従業員や労働日数の削減を余儀なくされ多数の建設業者が倒産、廃業、縮小に追い込まれた。そこで、かつて三好市

編集後記

3月11日が巡ってきました。自然の猛威の前には、人はいかに無力かを思い知らされました。人類がつくりだした文明は自然をも自由に制御できると錯覚していましたが、自然を科学の目で冷静に見つめることと謙虚であることが要求されました。災害という非常に怖いことがいかに大事かが認識されました。その日に急いでいるものではなく、日常のなにげない暮らしの中で自然に培われるものだというのも改めて知りました。大きな力を発揮すると同時に、壊れやすい要素をもっていることも認めません。意識して積み上げていく努力も必要だと思えます。

議会基本条例ができて、議会自らが変わるとうと決意して1年が経過しました。振り返って、どこまで近づけたか検証してみなければなりません。条文に魂を吹き込んでいく課題があります。開かれた議会として住民参加の下、広く言論の府として活発な議論を展開していかなければなりません。産業振興政策の一端である大型製材工場操業に向けて大きく踏み出した1年でありました。また今後とも具体化していく1年となります。

経済状況はますます厳しい中で進められますが、多くの課題があります。秀峰読者のみなさんに議論を公開し、町政参加への一助となるよう編集に努めてまいりますのでよろしくお願いたします。 前野由和

広報編集特別員会

- 委員長 佐藤 徳治
- 副委員長 小川 智也
- 委員 三谷幸一郎
- 委員 前野 由和
- 委員 都築 正光

【ご意見やご感想は】大豊町議会事務局

電話 7210468 (直通) まで

大豊町役場職員等名簿

(平成24年4月現在)

町長……………岩崎 憲郎
副町長……………好永 公一

出納室

会計管理者……………小林 雅文
副参事……………前田幸太郎
主幹(兼)……………前田 恵美

総務課 (本庁)

課長……………都築 純一
課長補佐……………下村 賢彦
主査……………笹岡 祐介
(嶺北広域行政事務組合へ派遣)

企画財政班

班長……………西村 佳子
主幹……………岡崎 智樹
主幹……………小笠原万記
主事……………宮岡 秀学
主事……………藤原 裕太
主事……………鎌倉 仁
主幹……………松岡 順子
主幹……………前田 恵美
主事……………山中 元太
主事補……………森本 啓介

庶務班

班長……………鎌倉 仁
主幹……………松岡 順子
主幹……………前田 恵美
主事……………山中 元太
主事補……………森本 啓介

窓口センター班(総合ふれあいセンター)

班長……………坂本 諭
主査……………松浦 延和
主幹……………松岡 利安
主幹……………南部千恵美
主幹……………栗名 功

プロジェクト推進室

室長……………佐々木 謙

100年の森プロジェクト

参事……………三谷 淳
主幹……………平石 稔
主事……………石川 裕之
班長……………森 一芳

元気集落プロジェクト

主幹……………長谷川静香
主事……………久保 竜太
補佐……………北村 邦彦
班長……………前田 典彦
主幹……………永野 尊教
主事……………杉本 智昭

住民課

課長……………今井 達也

課長補佐(兼環境班長) 松岡 浩司
主幹……………笹岡 久美
(大豊町社会福祉協議会へ出向)
主事……………山原 尚史
(南国・香南・香美租税債権管理機構へ派遣)

保険窓口班

班長……………高樽 かよ
副参事……………栗名賢一郎
主幹……………小松 倫
主幹……………下村 澄
主事……………笹岡 幸子
非常勤職員(レセプト点検員)……………上村 圭子

地域包括支援センター班

班長……………森岡 正徳
主幹《保健師》……………岡崎 美佐
主事補《保健師》……………山本 純代
班長(兼)……………森岡 正徳
主事補……………猪野 可奈

介護保険班

班長……………原 精一
副参事……………北窪 康宏
主幹……………村岡 節
主幹……………小笠原梨方
主事……………杉本 晃代

福祉班

班長……………小林 富紀
主幹……………信高 愛
主幹……………都築 朋枝
主幹……………吉田 雄造
主事《保健師》……………平石 典子
非常勤職員(管理栄養士)……………松岡 政子

健康づくり班

班長……………小林 富紀
主幹……………信高 愛
主幹……………都築 朋枝
主幹……………吉田 雄造
主事《保健師》……………平石 典子
非常勤職員(管理栄養士)……………松岡 政子

相談支援班

班長(兼)……………原 精一
主幹(兼)《保健師》……………村岡 節
主事(兼)《保健師》……………平石 典子

税務班

班長……………小笠原 隆
主幹……………茂松 静子
主幹……………小松 隆章
主幹……………都築 広行
主事補……………澤 一樹

環境班

技術員……………小笠原典巨
技術員……………阿佐 守
非常勤職員……………千頭 秀生
非常勤職員……………笹岡 繁男
非常勤職員……………佐々木 剛

産業建設課

課長……………宮内 伸彦
課長補佐……………河野 大仁
主幹……………山崎 栄子
(ゆとりファームへ派遣)

建設水道班

班長……………中澤 巨
主幹……………横山 美鈴
主幹……………三谷 耕一
主幹……………川村 文男
主幹……………長谷川拓史
主事補……………宮内 宏卓
班長……………高橋 公仁

地籍調査班

班長……………高橋 公仁

主幹……………関口 穂積
主事……………川崎 誠

産業班

班長……………都築 優二
主幹……………都築 清
主幹……………下村 高史
主幹……………佐藤 顕

農業センター勤務

(兼)ゆとりファーム派遣
課長補佐……………大石 雅夫
主査……………美濃 明男

教育委員会 (農工センター)

教育長……………吉松 英喜
教育次長(兼保育所長)……………上地 信男
参事(公民館長)……………村山 浩三
研修指導員(教員)……………武田 崇子
外国語指導助手……………ソエン テ
国際交流員……………マックス プランチフラー

人づくり班

班長……………三谷 裕一
主幹……………長田 群子
主幹……………浦川 尚樹
主幹……………宮岡佐知子
主査《保育士》……………鎌倉 真紀
主幹《保育士》……………山本 奏
主幹《保育士》……………上村 和恵
主幹《保育士》……………中西 広香
主幹(用務)……………小笠原佳世

大田口保育所

主査《保育士》……………村山 千春
主事《保育士》……………秋山 武永
主幹(調理)……………三谷 由香

少年育成センター

所長(兼)……………吉松 英喜
補導専門職員(県職)……………尾立 正人
事務職員(兼)……………村山 浩三

学校給食センター

所長(兼)……………三谷 裕一
主幹……………笹岡 由美
主幹……………河野 智子
技術員……………秋山久美子

選挙管理委員会

書記(併)……………都築 純一
書記(併)……………鎌倉 仁
書記(併)……………西村 佳子
書記(併)……………松岡 順子
書記(併)……………前田 恵美
書記(併)……………岡崎 智樹
書記(併)……………小笠原万記
書記(併)……………宮岡 秀学
書記(併)……………藤原 裕太

固定資産評価審査委員会

書記(兼)……………茂松 静子

議会事務局

事務局長……………池添 修一
書記……………村山 浩三

派遣職員紹介

地域支援企画員(県職)として2年間、大豊町で活動された吉岡重雄さんに代わり、新しく高橋宏明さんが派遣されました。

監査委員事務局

事務局長(併)……………池添 修一

農業委員会

書記(併)……………山中 元太
書記(併)……………森本 啓介
事務局長(併)……………河野 大仁
書記(併)……………佐藤 顕

高知県地域支援企画員 高橋 宏明

○地域特性・資源を生かした「山村ならではの」「大豊ならではの」の取り組みの中で、直面する課題の解決に向け、少しでもお役に立てるよう一生懸命がんばりますので、よろしくお願ひします。



退職者 (3月31日付)

- 長野 佳人
 - 長野 公
 - 寺尾 文香(住民課健康づくり班)
- ↓県健康政策部健康長寿政策課へ



在職中は、町民の皆さま方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

※新規採用職員紹介は裏表紙にあります。

プロジェクト推進室始動!

4月1日から現場組織の一部が変更になりました。
「産業建設課産業班（林業関係）」が「100年の森プロジェクト」、「総務課交流班」が「おいでよおとよプロジェクト」となり、その3つのプロジェクトが入った「プロジェクト推進室」が誕生しました。

「宝の森」を産業、環境の両面から貴重な資源としてとらえ、「環境にやさしい100年の森」づくりを進めます。

大型製材工場の誘致、温室効果ガス吸収、間伐の推進、森林の団地化の推進

※旧産業建設課産業班（林業関係）

大豊の文化である山村の営みを中心とする、「みんなで支える郷づくり」から、「元気集落」づくりを進めます。

みんなで助け合う（健康づくり）、みんなで守る（環境整備）
みんなで元気にする

※旧総務課地域担当班

交流から地域の元気を再生するため、山村の日常の営みやアウトドアスポーツを資源とした交流を進めます。

生産の営み体験、生活の営み体験、山村集落の営み
アウトドアスポーツ、交流拠点、山村体験ツアー

※旧総務課交流班



100年の森プロジェクト

元気集落プロジェクト

おいでよおとよプロジェクト

事務所は本庁3階にあります。
交流班がふれあいセンターから移動になりました。

観光関係のお問い合わせは、
☎⑨ 72-0450 まで
お願いします。

また、広報は元気集落プロジェクトが担当しますので、
これからもご愛読くださいますよう、
よろしくお祈りします!



集落に入って空き家調査をしたり、移住希望者との引き合わせなどの移住促進を行う臨時職員が配属されました。
集落に出向いた際には、ご協力よろしくお祈りします!

犬の登録と狂犬病予防注射を実施します

狂犬病予防法により、犬の飼い主は生後91日以上の犬に生涯一度の登録と、年一回の狂犬病予防注射を受けさせることが義務づけられています。

今年度は下表の日程で狂犬病予防注射を行います。
対象となる犬は生後91日以上の犬です。
登録料、注射料は次のとおりです。

- 登録料 3千円
- 注射料 3千円（注射済票代金を含む）

狂犬病は、犬あるいは動物だけの病気ではなく、人を含めたすべての哺乳類がかかる感染症です。

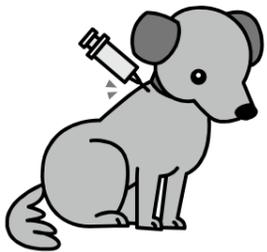
人への感染は犬にかまれたことによるものが多いため、年一回の予防注射が飼い主の義務となっておりますので、必ず予防注射を受けてください。

なお、登録した犬が死亡したり、飼い主の住所が変わった場合などは、手続きが必要ですので役場までご連絡ください。

※登録している犬の飼い主には、5月上旬に問診票を郵送いたしますので、記入のうえ実施場所に持参してください。

※新しく登録する犬については、予防注射実施場所で登録し、注射を受けることとなります。

問い合わせ先 … 住民課健康づくり班 吉田



平成24年度 狂犬病予防注射巡回予定表

5月25日(金)・6月19日(火)		5月27日(日)・6月20日(水)		5月29日(火)・6月21日(木)	
東豊永・西豊永方面		大田口・穴内・大杉方面		天坪・(大杉)・立川方面	
実施場所	集合時間	実施場所	集合時間	実施場所	集合時間
粟生 秋田昭一さん宅前	9:00	総合ふれあいセンター前	8:50	戸手野 カム口前	8:55
東豊永生涯学習センター前	9:15	東庵谷集会所・せせらぎ庵前	9:15	天坪地区複合集会所前	9:05
立野 分岐付近	9:25	庵谷 星神社付近	9:40	本村 踏切付近	9:15
町道川井線起点	9:35	大田口公民館前	10:10	峰 集会所	9:30
渡長 バス停前	9:50	西寺内集会所前	10:20	峰 尾原忠治さん宅付近	9:40
JA土佐れいほく西峰事業所前	10:05	寺内町道薬師堂線起点	10:40	JA土佐れいほく天坪店前	10:00
大畑井バス停前	10:20	町道磯谷線入口	11:00	北川口橋	10:10
柚木 上地健勇さん宅下分岐付近	10:45	穴内会館前	11:10	久寿軒 西岡商店前	10:35
三津子野集会所前	11:15	穴内駅前	11:20	北川一区イバ横	10:55
怒田林道平野線起点	11:25	穴内一区集会所前	11:40	桔谷 駅前食堂前	11:15
八畝集会所前	11:40	大王下 山間試験場前	12:00	大王上 大王橋付近	11:30
佐賀山 山本幸雄さん宅下分岐付近	12:00	小川 山口憲郎さん宅前	13:20	仁尾ヶ内 永野俊夫さん宅前	13:40
佐賀山橋 分岐付近	12:10	杉 道の駅前	13:35	刈屋バス停前	14:05
西川 三谷栄二さん宅町道分岐付近	12:20	役場本庁前	14:00	立川生活改善センター前	14:15
ゆとりすと交流センター前	13:30	葛原公民館前	14:25	一ノ瀬公民館前	14:30
八川 近藤清市さん宅前	14:05	割木 久保大さん宅前	14:35	川口公民館前	14:45
JR岩原駅前	14:30	津家 仁井田神社前	14:50	谷公民館前	15:00
大久保郵便局前	14:45	川口南バス停付近	15:05		
大砂子公民館前	14:55				
永淵お堂前	15:10				
上桃原 上村廣光さん宅前	15:30				
桃原峠三叉路	15:45				
安野々忠霊塔前	15:55				

※問診票をお持ちいただき、
集合時間までに必ずお集まりください

申し込み受け付け期間：5月7日(月)～31日(木)

申し込みはお電話
または、青色の専用ハガキで!

☎ 972-0450

住民課健康づくり班まで



受診費無料

※一部がん検診除く

■ 総合検診のスケジュール ■ (受付時間は 8:30 ~ 10:00)

実施日	場 所	対象地区	健診の種類	送迎
7月11日(水)	東豊永小学校	東豊永・西峰地区	特定健診	有
7月26日(木)	総合 ふれあいセンター	西豊永・東部地区	高齢者健診	
7月27日(金)		立川・大田口地区	肝炎ウイルス	
7月29日(日)		全 地 区	胸部レントゲン	
8月23日(木)		天坪・大杉・穴内地区	胃がん 大腸がん	有
8月26日(日)		全 地 区	前立腺がん	

- 送迎便を利用される方は、申し込みの際にお伝えください。
- 肝炎ウイルス検査は、40歳以上で検診および医療機関で検査を受けたことのない方が対象となります。
- なお、75歳以上で循環器の治療を受けていたり、服薬されている方は対象となりませんので、ご確認ください。

■ 婦人がん検診のスケジュール ■

実施日	検診名	対象地区	場 所	受付時間
8月4日(土)	子宮がん	天坪・大杉 立川・穴内地区	大豊町役場	9:00 ~ 10:00
8月12日(日)	乳がん	東部・ 東豊永地区	岩原部消防屯所	① 8:30 ② 9:30 ③ 10:30
			東豊永 生涯学習センター	④ 13:00 ⑤ 14:00
9月1日(土)	乳がん	大田口・ 西豊永地区	総合 ふれあいセンター	① 8:30 ② 9:30 ③ 10:30
				④ 13:00 ⑤ 14:00

- 対象地区外で前年度婦人がん検診を受診されている方で、今年度受診を希望される場合、自己負担金(乳がん検診4,000円、子宮がん検診2,500円)が必要です。
- 乳がん検診は「時間予約制」ですので、申し込みのない方は受診できません。

対象年齢、申し込み方法等詳しい内容は、各世帯に配布した健診の
申し込みチラシをご覧ください

特定健診の受診率が目標65%に
達成しなかったらどうなるの?

健康には自信があるし、別に健診を受けなくても・・・、
なんて考えている方!

特定健診の受診率は、健康維持だけではなく、
国保税にも大きな関係があるのです!

国から示されている受診率目標は平成24年度
に65%以上です。この目標を達成できないと後
期高齢者支援金」の額が増やされる可能性があ
ります。

「後期高齢者支援金」とは、75歳以上の方が
使った医療費に対し、国保加入者一人ひとりが
負担するお金です。

国の最終目標に達するためには、皆さまのご
協力が必要です。

受診率65%の達成人数は約625人。保険料を増
やさないためにぜひ、健診を受診してください。
※国保に限らず、社会保険加入者の方にも目標
受診率が定められています。

大豊町の国保のお財布から出される
支援金を試算してみましょう

大豊町の国保加入者 1,466人 × 1人あたりの支援金 年間 46,968円 = 約7千万円

65%以上達成

支援金が
10%「減額」され、6,300万円に!

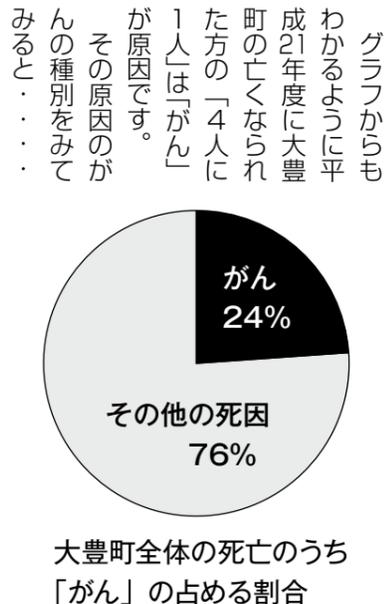
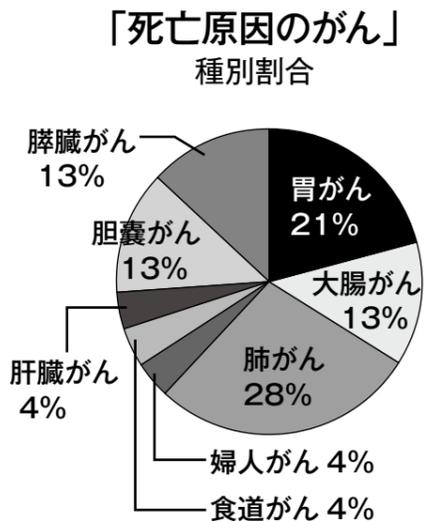
65%未達成

支援金が
最大10%「増額」され、7,700万円に!
増額分(700万円)は国保税でまかなわれることに...

国が定めた
特定健診の
目標受診率
65%

がん検診って大事?

がんによる死亡のうちなんと6割が大豊町が行って
いる検診によって早期発見できる「がん」なのです!
がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療
を行うことで、がんによる死亡を減少させることです。
特定健診、がん検診(一部を除く)ともに無料です。
今年度は日曜健診も2回ありますのでご自分の健康
チェックを兼ねて受けてみませんか?



役場からのお知らせ

電話
● 役場 072-0450
● ふれあいセンター 073-0811
● 農業センター 073-0978

飼い犬、飼いねこの引き取りが 有料となります

現在、家庭で飼えなくなった犬またはねこについては、無料で引き取りを行っていますが、今年の10月1日から、手数料を徴収することになりました。



【目的】

飼い犬、飼いねこの処分に要する費用を飼い主に負担していただくことで、もう一度飼育を考えていただき、ペットを飼うことを簡単に断念し、安易に動物管理センター等へ持ち込むことを防止し、少しでも殺処分数を減らしていく。

【可取り手数料額及び徴収方法】

生後91日以上のもの1頭(匹)につき 2,000円
生後90日以下のもの1頭(匹)につき 400円

飼い主は、手数料額分の県証紙を購入し、引き取り依頼書に添付します。
※役場での引き取りは、月2回の犬猫の相談日のみを行います。

問い合わせ先 … 住民課健康づくり班 吉田

ふれあいセンターの会議室等の 利用について

4月から役場組織の変更により、クアハウスのご休日の火曜日、2階事務所に職員が不在となりますので、火曜日に会議室等の使用ができなくなる場合がございます。

ご利用の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力よろしくお願ひします。

問い合わせ先 … 総合ふれあいセンター内 総務課窓口センター班

銃砲刀剣類の登録について

刀や銃は、銃砲刀剣類と呼ばれ、一般的には法律(銃砲刀剣類所持等取締法)によって所持することが禁じられています。ただし、
○美術品もしくは骨董品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲
○美術品として価値のある刀剣類
都道府県教育委員会に登録すれば例外として所持することができます。

登録の手続きは、次のようになっていきます。

- 1 銃砲刀剣類を発見した時は、まず、発見場所の最寄りの警察署に現物を持って行き、銃砲刀剣類の発見届けを行ってください。届け出には発見した銃砲刀剣類の現物と印鑑が必要です。
- 2 届け出を行えば、警察署が「銃砲刀剣類発見届出済証」を発行します。
- 3 登録手続きは銃砲刀剣類登録審査会で行ってください。登録審査委員が審査して、登録が可能であれば「登録証」を発行します。

【開催日時】 毎月一回 (第2火曜日・午後1時30分～4時)

【場 所】 県西庁舎3階

【登録に必要なもの】 銃砲刀剣類の現物、「発見届出済証」

【手数料】 県証紙(6300円分)

※銃砲刀剣類の現物と「登録証」は常にセットで保管してください。

※「登録証」を紛失した場合は、再交付の手続きを行う必要がありますので、すみやかに登録されている都道府県教育委員会にお問い合わせください。

問い合わせ先 … 高知県教育委員会文化財課

銃砲刀剣類担当 ☎088-821-4761

民生委員・児童委員の日 活動強化週間のお知らせ

大豊町民生委員協議会では、「民生委員・児童委員の日」である5月12日から18日まで活動強化週間を実施します。

活動強化週間は全国的に実施されており、行動宣言である「広げよう地域に根ざした思いやり」を合い言葉に、安全で安心なまちづくりをめざして、多くの関連機関と連携して様々な取り組みを推進しております。



今回の強化週間に際して、日ごろの生活の中での悩みや、福祉など手続きについて相談等ございましたら、地区の担当民生委員までお気軽にご相談ください。

※毎年5月5～11日は児童福祉週間です。

「広げよう地域に根ざした思いやり」行動宣言

※抜粋

- 1 安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します
- 2 地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します
- 3 児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます
- 4 多くの福祉課題を抱える生活困難家庭に粘り強く接し、地域社会とのつなぎ役を務めます
- 5 日頃の活動を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行います

問い合わせ先 … 大豊町社会福祉協議会内

大豊町民生委員協議会 ☎73-11200

御神輿が新しくなりました コミュニティー助成事業

庵谷地区には古くから昇(か)き子によって神輿を神輿舎から出し、拝殿内の神前に据える、御神幸(おなばれ)の行事が伝えられており、大豊町の無形民俗文化財として指定されています。この神輿もずいぶん古く装飾品等の傷みも激しくなっていました。この度コミュニティ助成事業で修理を行い、2月25日業者から納品されました。庵谷地区では、修理の済んだ御神輿を中心として地域コミュニティの維持や集落の自治の活性化に大いに貢献できるものと期待されています。



昨年の御神幸の様子



森林の土地を取得したとき 届け出が必要

森林の所有者が分らないと、
①行政が森林所有者に対して助言等ができない
②事業者が間伐等をする場合に、所有者に働きかけて森林を集約化し効率を上げられない
ことから、森林の所有者の把握を進めるため、森林法改正により新たな届け出制度ができました。

【届け出が必要な場合】

個人が法人かによらず、売買契約のほか、相続、贈与、法人の合併などにより、森林の土地を新たに取得した場合



【届け出の方法】

所有者となった日から90日以内に、取得した土地がある市町村の長に届け出を行います。

問い合わせ先

… プロジェクト推進室 100年の森プロジェクト

平成24年度から平成26年度の 介護保険料について

大豊町の基準額は、年額43,200円(月額3,600円)となります。これは、前回の保険料に比べ年額2,400円月額200円の増額となります。

認定を受けた要介護者の増加と、サービスを受ける方がショートステイやデイサービスあるいは、特別養護老人ホームなどの施設利用が増えるためです。

詳しくは、7月上旬に介護保険料のお知らせによりご確認ください。

みなんで支える介護保険ですのでご理解のほどよろしくお願ひします。

問い合わせ先 … 住民課介護保険班

おいしいもの大集合! 第3回土佐の食1グランプリ開催

3月31日と4月1日の2日間、土佐のご当地グルメNo.1を決めるイベント、「第3回土佐の食1グランプリ」が岡豊山さくらまつり会場で開催されました。

当日は桜が満開で天気にも恵まれ、最高のイベント日和でした。

大豊町からは「鹿肉の竜田揚げ」と「坦々風立川そば」がエントリーしました。

「鹿肉の竜田揚げ」は鹿肉がとても柔らかくてクセもなく、味もしっかりとついでいて、あつというまに完売でした。

「坦々風立川そば」は坦々風なのでしつこいかな?と思いきや、スパイスがきいているからかさっぱりとした味で、立川そばとの相性バツグンでした。

結果発表で「坦々風立川そば」が見事2位に入賞しました。そばは立川で地元の方が打った十割そばを使い、ゼンマイ、ワラビ、イタドリ等と豚肉に10種類以上のスパイスを使った坦々風の肉みそをのせています。

坦々風立川そばは「道の駅大杉」で召し上がれます。



ヘルスメイトの おしゃべりコーナー

◆缶詰は長期の保存ができるうえに、多くの種類が販売されており、非常時の備えにはもちろんのこと、普段の献立にも利用できる大変便利な食品です。

◆今回は、ツナの缶詰で作る献立を紹介します。味付けを薄くすることで、幼児食にも利用いただけますのでお試しください。

◎豆腐とツナのハンバーグ

■ 材料（2名分）

- 木綿豆腐 …………… 100g
- ツナ缶 …………… 50g
- ねぎ（細めの小口切り） …… 少々
- 卵 …………… 1/4 個
- 酒 …………… 小さじ 2
- A しょう油 …………… 少々
- 塩 …………… 少々
- こしょう …………… 少々
- サラダ油 …………… 適量

■ 作り方

- ①豆腐はキッチンペーパーで包み、耐熱容器に入れてラップをし、電子レンジで1分20秒程度加熱し水気を切る。
- ②ツナは余分な油を切り、ボウルに入れて豆腐、ねぎ、Aを混ぜ合わせる。
- ③小判型に形を整え、サラダ油を多めに入れたフライパンで揚げ焼きにする。
- ④季節の野菜や果物を添えて盛り付ける。
※ねぎの代わりに青じそなど加えてもOK！



1名分の 栄養量	エネルギー …… 125kcal	脂質 …… 9.8g
	たんぱく質 …… 8.1g	鉄 …… 0.6mg
	カルシウム …… 63mg	塩分 …… 0.2g

問い合わせ先

大豊町食生活改善推進協議会
(住民課健康づくり班)

交通安全ニュース

本山署交通課 アドバイザー 上池 ☎ 76-0110
香美署交通課 アドバイザー 坂本 ☎ 52-0110

お世話になりました!

“ミニデイ”教室だより



各地区のミニデイにお邪魔して、安全教室を実施しました。管内で死亡事故が発生したことを受けて、いつもに増して真剣に耳を傾けていただきました。今後も地元根付いた活動で交通事故防止に努めたいと思います。

ご協力ありがとうございました。

眠ったままになっていませんか？ 反射材

安全は人に委ねず、まず備えから。自己防衛が事故防止の第一歩です。



👉お出かけ前の安全チェック!

- 体調は良いですか？
普段と違うと感じる日の外出は控えましょう
- 服装は白もしくは白に近い明るい色を着ていますか？
薄暮時や夜間でも見つけられやすい白っぽい服装がベストです
- 反射材を身に付けていますか？
目立って、アピールすることが事故防止のポイントです

香美署管内連絡便

「農耕車の道路横断中の事故に注意!!」

暖かくなって、農作業も始まります。農耕車両の道路横断中の事故や転落事故も過去に発生していますので、道路を横断中は確実な安全確認をしましょう。



教職員紹介

この春、新しく大豊町内の学校に来られた教職員の方を紹介します。

新赴任の先生方をはじめ、各学校の先生方と教育委員会がベクトルをあわせ、学校現場で子どもたちの成長のために、充実した教育を進めていきたいと思えます。

保護者や地域の皆様のご支援とご協力をお願いします。

教育委員会 だより



大豊小 山崎修二 校長先生



黒潮の見える土佐清水市から来ました。自然豊かな大豊町は初めてです。元気な子どもたちと日々、豊かな恵みに感謝しながら取り組みを行いたいと思います。子どもたちの笑顔や元気な声がたえない学校づくりに励みますので、よろしくお願いいたします。

大豊町中 重森正秀 校長先生



4年ぶりに故郷大豊町に帰ってきました。1週間が過ぎましたが、会う人、見る風景が懐かしくて、ほっとする毎日です。子どもたちが、「今日も学校に来てよかった、楽しかった、勉強がわかった」、そう思えるような学校づくりを進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

大杉小 高橋雅兄 教頭先生



初めて大豊町でお世話になることになりました。見上げれば日本一の大杉、見下ろせば穴内川・吉野川の清流。豊かな自然と温かいみなさんに包まれながら、精一杯がんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

大田口小 高石浩 教頭先生



初めて大豊町でお世話になることになりました。初めての複式校での勤務、担任で少し不安を感じていましたが、明るく素直な子どもたちに出会い元気をもらいました。この子どもたちと共に関わりたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。

大杉小 西村三知 先生



6年ぶりに大豊町で、お世話になることになりました。四季の移り変わりを、感じることができるこの地で勤務できることを、とても楽しみにしています。大杉の子どもたちと、元気に明るく、笑顔いっぱいがんばりたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

大田口小 西本昭裕 先生



春野西小学校からかわってきました。大豊町は初めてですが、自然に囲まれた子どもたちといっしょに過ごしていくのを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

大豊小 中平亜紀 先生



本山町の吉野小学校から転任してきました。大豊町で勤務するのは初めてなので、「どんなところかな・・・」とワクワクしています。子どもたちに負けないように、明るく元気いっぱいがんばりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大豊町中 筒井小百合 先生



南国市の香長中学校から転任してきました。初めての大豊町にワクワク・ドキドキしています。豊かな自然環境の中で育てられた生徒さんと一緒にいつも明るく笑顔で過ごすことができたらいいなと思っています。どうぞ、お気軽にお声をかけてください。よろしくお願いいたします。

大豊町中 岡本憲明 先生



香美市の鏡野中学校から転任してきました。大豊町は初めてですが、山あり谷ありのこの地が気に入っています。梶ヶ森には登ったことがあります。時間があればいろいろな地域を回ってみたいと思います。学校にも早く慣れて、がんばっていききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

大豊小 渡辺さおり 先生



江ノ口小学校より来ました。わかる、楽しい授業づくりに努め、子どもたちと共に成長していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

大杉小・大田口小 宮地やすみ 先生



素晴らしい自然の中で子ども達と過ごせることがとても嬉しいです。私自身子ども達と共に成長していけるように頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

🚚 引っ越しました

4月から教育委員会事務局が「本庁3階」から、「農工センター2階」へ変わりました。お間違えのないよう、よろしくお願いいたします！

ゆとりすと カレンダー 5月・6月

5月 皐月 May

1	火	軽自動車税納付期限	八十八夜
2	水	健康あっぷ教室 (ゆとりすと交流センター 10:00 ~ 東豊永生涯学習センター 14:00 ~)	
3	木	憲法記念日 穴内連休まつり	
4	金	みどりの日 穴内オサバイ様	
5	土	こどもの日 大杉まつり	立夏
6	日		
7	月		
8	火		世界赤十字デー
9	水	立川無医地区診療 健康あっぷ教室 (ゆとりすと交流センター 10:00 ~ 東豊永生涯学習センター 14:00 ~)	
10	木	犬猫の相談日 ヘルスメイト推進教室 (ふれあいセンター) 行政相談 (ふれあいセンター) 10:00 ~ 12:00	愛鳥週間
11	金		
12	土	いくちゃんのはつらつ健康運動教室 (ふれあいセンター) 14:30 ~	
13	日		母の日
14	月		
15	火	久寿軒無医地区診療	
16	水	健康あっぷ教室 (ゆとりすと交流センター 10:00 ~ 東豊永生涯学習センター 14:00 ~)	
17	木	すこやか健診 (ふれあいセンター) 13:00 ~	
18	金		
19	土		
20	日		
21	月	犬猫の相談日	小満
22	火	西峰無医地区診療	
23	水	健康あっぷ教室 (ゆとりすと交流センター 10:00 ~ 東豊永生涯学習センター 14:00 ~)	
24	木		
25	金	狂犬病予防注射巡回 よちよち・親子で3Bふれあい体操 (ふれあいセンター) 10:00 ~	
26	土		
27	日	狂犬病予防注射巡回	
28	月		
29	火	狂犬病予防注射巡回	
30	水	健康あっぷ教室 (ゆとりすと交流センター 10:00 ~ 東豊永生涯学習センター 14:00 ~)	
31	木	固定資産税 (1期) 納付期限	世界禁煙デー

6月 水無月 June

1	金	人権相談 (ふれあいセンター) 10:00 ~ 15:00	
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		世界環境デー 芒種
6	水	健康あっぷ教室 (ゆとりすと交流センター 10:00 ~ 東豊永生涯学習センター 14:00 ~)	
7	木	無料法律相談・行政相談 (ふれあいセンター) 10:00 ~ 12:00 はみがき・栄養教室 (大田口保育所)	

募集情報 イベント

技術海上幹部・技術航空幹部募集

大学において応募資格に定められた学部の指定する専攻学科を卒業後、2年以上の業務経験のある人を対象に、その経験を活かし、装備品等の研究開発、維持整備に関する業務又は心理、語学、薬剤、音楽に関する業務に従事する幹部自衛官を採用します

応募資格	大卒38歳未満の者
受付期間	4月27日(金)から5月18日(金)まで
試験期日	7月2日(月)
処遇など	1等海・空尉~2等海・空尉で採用 (経験年数により異なる。)

その他の自衛官募集については、「自衛隊高知地方協力本部」ホームページをご覧ください。

問い合わせ先 自衛隊高知募集案内所 ☎ 088-823-2006

自然素材を使った作品展開催中!

ゆとりすとパークおおとよでは、グループ名「大豊森のトロールたち」と称する、地元・大豊町の小学生とご近所さんが自然素材を使って愛情をこめて仕上げた作品を展示しています。

テーマは「ゆたかな大豊の自然の素材を使った、子どもたちだけに見える不思議な森の物語」。

参加費は無料ですのでぜひお楽しみください!

展示期間	6月30日(土)まで
場 所	ゆとりすとハウス2階
参加費	無料

期間中不定期で、制作者の方にお越しいただき、作品づくり教室も開催予定です。

問い合わせ先 ゆとりすとパークおおとよ ☎ 72-0700

平成25年歌会始のお題は「立」です

平成25年歌会始のお題は、『立』と定められました。詠進歌は自作の短歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。

くわしくは宮内庁ホームページに掲載されています。

詠進の期間 9月30日(日)まで
注:お題は「立」ですが、歌によむ場合は「立」の文字が詠み込まれていればよく、「立志」「立春」のような熟語を使用しても差し支えありません。

<無料>法律・行政相談

日 時 6月7日(木) 午前10時~正午
場 所 総合ふれあいセンター 3階 会議室
申し込み方法 法律相談(予約制)を希望される方は、
社会福祉協議会 ☎⑦3-1200まで
(申し込み多数の場合は先着順)

高知県警察官等採用試験

試験名 高知県警察職員等採用上級試験(警察事務)
受験年齢 ①昭和58年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた人
②平成3年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による4年制大学等を卒業した人または、平成25年3月までに卒業見込みの人
受付期間 5月7日(月)~5月18日(金)
一次試験 6月24日(日)
二次試験 7月下旬~8月上旬
問い合わせ先 高知県警察本部警務課人事係
☎ 088-826-0110 または
フリーダイヤル 0120-032-376

新規採用職員紹介

方言・地名わからないことだらけですが、早くいろいろなことを吸収し、大豊町のために精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

いの かな
猪野 可奈
住民課介護保険班



さわ もと
澤 一樹
住民課税務班

一日でも早く仕事を覚え、大豊町役場の職員として精進したいと思います。よろしくお願いいたします。

地域住民の方々への誠実な対応！をモットウに頑張っていきます！よろしくお願いいたします！！

みやうち ひろたか
宮内 宏卓
産業建設課
建設水道班



もりもと けいすけ
森本 啓介
総務課庶務班

早く仕事を覚え、大豊町と地域の住民の方のために、明るく元気に頑張ります。よろしくお願いいたします。

まだまだ未熟ですが、1日も早く皆さんのお役にたてるよう一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

やまもと すみよ
山本 純代
住民課地域包括
支援センター班



今年は、5人の新規採用職員が配属になりました。どうぞよろしくお願ひします。

2012年 5月号
ゆとりすと 通巻205号
秀峰 通巻131号
【平成24年4月30日発行】

ゆとりすと 秀峰
発行：大豊町 編集：プロジェクト推進室
〒780-0392 高知県長岡郡大豊町高須231番地
電話 0887-72-0450 FAX 0887-72-0474
大豊町ホームページ (http://www.town.otoyo.kochi.jp/)